



'NEW AOBAYAMA CAMPUS'
of TOHOKU UNIVERSITY

July 2006



青葉山 新キャンパス 整備事業



来年度、創立100周年を迎える東北大学が、次の100年へ向けて大きく踏み出すとともに、国際競争力を持った世界最高水準の総合大学として一層の飛躍と発展を遂げていくために不可欠な基盤となる青葉山新キャンパスの整備については、平成16年1月に策定した「新キャンパス構想」、平成17年8月に発表した「青葉山新キャンパス整備方針」等に基づき、精力的に事業を推進しているところです。

平成18年1月には整備計画を策定するための建設コンサルタントや、青葉山の自然に配慮した環境調和型キャンパスを実現するためのランドスケープ・アーキテクトを選定し、これまで具体的な策定作業を進めてきております。

今般、新キャンパス予定地である青葉山県有地について、県議会の議決により売買本契約が締結されるとともに、基本計画・基本設計についても、その骨格となるフレームワークプランを決定するなど、整備実現に向けた一つの節目と言える段階を迎えるに至りました。

本学では、「杜の都」及び「学都」に相応しい魅力溢れるキャンパスの実現を目指し、今後とも着実に事業を推進していく予定です。

東北大学の主要キャンパス及び青葉山新キャンパス位置図



東北大学 新キャンパス 構想



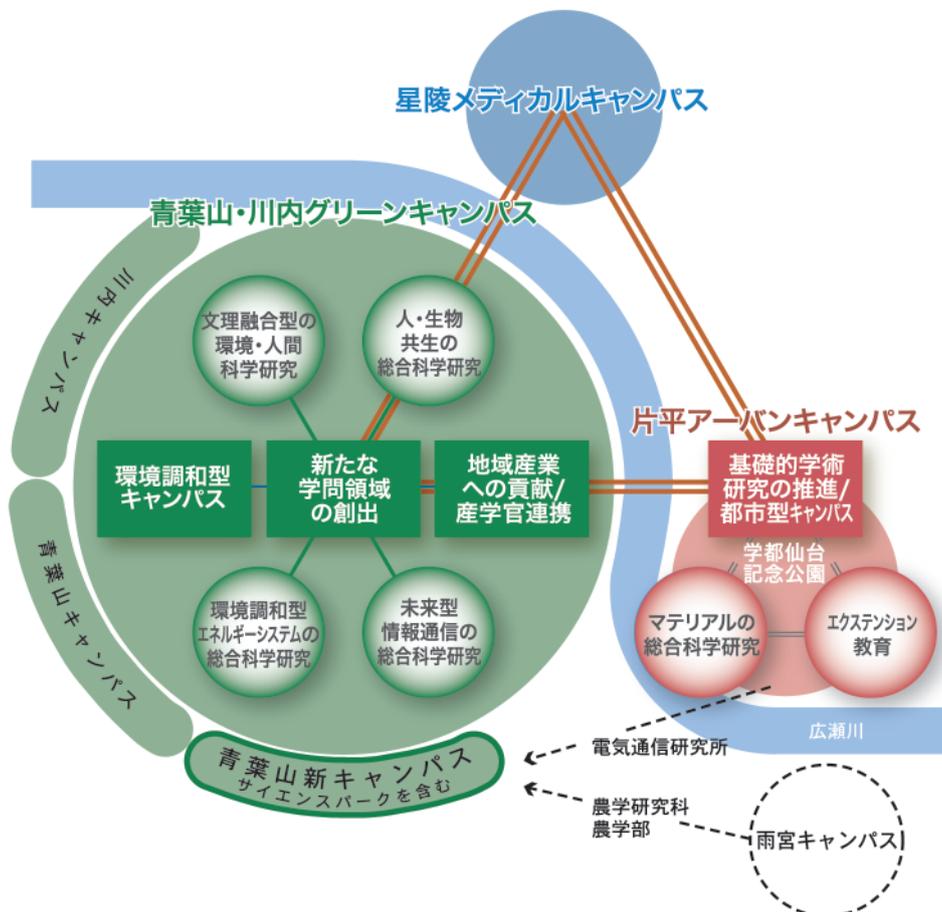
東北大学は、「指導的人材の養成」、「研究中心大学」及び「世界と地域に開かれた大学」を目指し、機能性、快適性、歴史性、文化性、国際性を備えた、知的創造活動や知的資源の継承の場にふさわしいキャンパス環境を創造します。

このため、主要キャンパスを、青葉山・川内、片平及び星陵の3カ所に再編・整備し、新しい時代に対応した学術文化拠点づくりを進めます。

再編後の3つの主要キャンパスは、杜の都の象徴である広瀬川、青葉山を包み込み、学都の新たな象徴を創り出します。

—星陵メディカルキャンパス—

21世紀医療の革新を目指す中核的拠点として充実を図ります。



—青葉山・川内グリーンキャンパス—

青葉山新キャンパスを含む青葉山・川内キャンパスでは研究科等の大半が集積することでもたらされるシナジー効果により「新たな学問領域の創出」やサイエンスパークの整備などの「産学官連携の強化による地域産業への貢献」に取り組みます。

また、「杜の都」仙台のシンボル青葉山に位置するキャンパスとして、自然環境の保全を十分考慮した「環境調和型キャンパス」を目指します。

—片平アーバンキャンパス—

仙台都心に位置する片平キャンパスは、利便性を活かして法科大学院等のエクステンション教育を展開するとともに、市民交流の場としてもより広く公開していきます。

また、東北大学発祥の地としてのアイデンティティを受け継ぎ、物質・材料関係分野の国際研究拠点を構築します。

青葉山 新キャンパス 整備方針



1. 新たな整備手法の導入

(1) 区分整備

- ①第1区分：跡地を財源とした移転整備
- ②第2区分：国費や外部資金による充実整備

(2) 用地の取得

青葉山県有地（約81ha）は平成18年7月に取得契約

(3) 財源とする跡地

- ①雨宮キャンパス（面積：約9.3ha）
- ②片平キャンパスの一部（面積：約5.5ha）
- ③その他の用地

2. 整備対象部局

(1) 第1区分

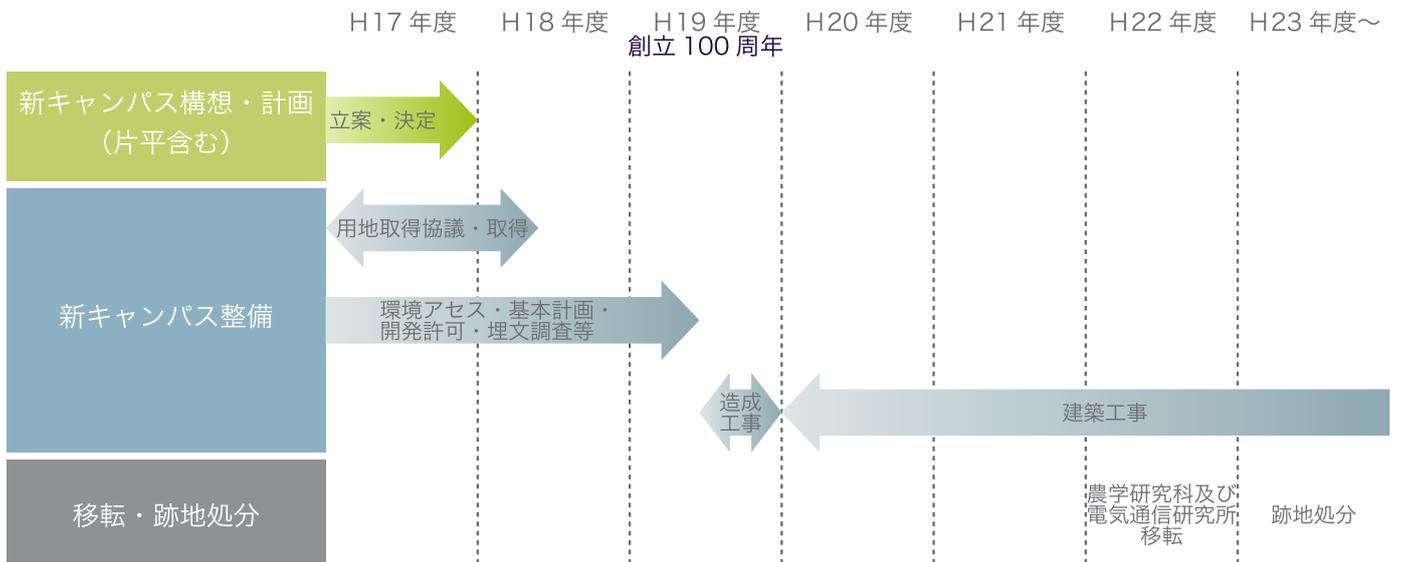
農学研究科・農学部、電気通信研究所
（原則として現有建物面積の移転）

(2) 第2区分

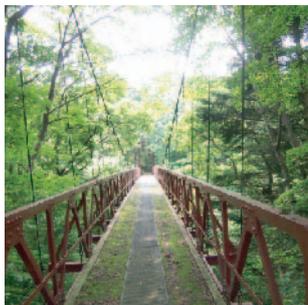
農学研究科・農学部、電気通信研究所（不足分の整備）
情報科学研究科、環境科学研究科、国際文化研究科、流体科学研究科、東北アジア研究センター、本部事務機構の一部（教育研究支援機能）、研究推進・知的財産本部等



整備スケジュール



青葉山 新キャンパス 土地利用計画



■豊かな自然環境に調和した計画とする

「杜の都・仙台」のシンボリックな存在として親しまれてきた青葉山の豊かな自然環境に配慮した『環境調和型キャンパス』の実現を目指します。

一方、すでにゴルフ場として開発された敷地であることから、緑地として保存するエリアと建物等を整備する開発エリアを明確に区分し、保存エリアについては100年先まで今の環境を維持するエリア、開発エリアについては適度に集約化を図るなど密度を高めた整備を行うエリアとして計画します。

■サイエンスパークの特性を重視した計画とする

大学との機能的な一体性とサイエンスパークの独立性などに配慮した計画とします。

■県民・市民への開放に配慮した計画とする

敷地中央部に、竜ノ口溪谷の支流と一体化した広大な自然の広場『ユニバーシティパーク（仮称）』を整備し、県民・市民にも広く開放する計画とします。

■公共交通機関の利用促進を図る交通計画とする

平成27年度に地下鉄東西線が開業する予定であるため、青葉山・川内地区の交通計画については、公共交通機関の利用促進に配慮した計画とします。



青葉山新キャンパスイメージ

青葉山新キャンパス航空写真



Aerial View : West Campus



青葉山新キャンパスフレームワークプラン



Aerial View : Campus Commons



※本紙に掲載されているイメージ、建物配置・形状等についてはすべて今後の検討により変更の可能性があります



TOHOKU UNIVERSITY, CREATING GLOBAL EXCELLENCE

東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します

■お問い合わせ■

〒980-8577

仙台市青葉区片平 2-1-1

キャンパス移転事業室

Tel:022-217-5581

Fax:022-217-5584